



おもちゃつくば 事業者における放課後等デイサービス自己評価表

公開日：2021年3月31日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		●		寝たきりの児童と動ける児童をどのように分けるかが課題であり注意点です。
	②	職員の配置数は適切であるか		●		少人数制なので、スタッフが児童にしっかりと関れるようにします。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		●		通常の戸建住宅を使用しているためなかなか改装は難しいのですが、手すり・スロープを装着して危険防止に努めています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	●			全員で参画するよう努めております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	●			主に、連絡帳や送迎時の受け渡しの会話を通し保護者との連絡・相談を受けて、コミュニケーションを取っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●			グループ内ホームページにて公表しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			●	今後の、外部評価を検討します。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●			地域の研修会や講演会に積極的に参加に努めております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			個々の状態、ニーズに合わせてアセスメント・プラン計画をたてています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	●			重心児が中心なので難しい点がありますが、検討していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	●			スタッフ間で話し合って実施しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●			児童にとって何が最善の支援になるのかを常に考えております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	●			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			一人一人個性に応じた支援を考えて計画を立てています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●			開始前のミーティングで情報の共有化を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●			送迎終了後はあまり時間がないので、翌日に行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●			支援内容を出来るだけ細かく記録し、改善に努めております。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	●			保護者や相談支援所と密に連絡を取り合い、定期的なモニタリング及び計画の見直しを行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか		●		ガイドラインに沿った支援を行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●			児童発達管理責任者を中心として、各担当者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	●			学校事業所間ではメールを通して情報を得ています。行事などはホームページの確認などで得ています。

関	② 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	●		主治医との連絡は、保護者を通して行っていますが、今後は主治医と事業所間での連絡体制の確立に努めてまいります。
---	--	---	--	--

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	●			連絡体制を整えています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		●		まだ学校を卒業した児童がいないが、その時は積極的に情報を提供していきます。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			●	個別納税証明書支援センターとの連携は課題ですが、研修会等に積極的に参加していきます。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		●		重心児が主なので難しい面がありますが、外出などを通して積極的に外部との交流を持ちたい。
	㉔	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	●			積極的に参加に努めております。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●			送迎時の会話と連絡帳が主なコミュニケーション手段ですが、できるだけ密に情報を共有するよう努めています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	●			ペアレント・トレーニング等支援を検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●			契約時又は更新時出来るだけ説明してまいります。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●			お互いに信頼関係を築きながら、支援を行っていきます。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			●	保護者会などの実施が出来る様、検討していきます。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●			苦情に対しては、迅速な対応に努めてまいります。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			●	活動に対する報告は、連絡帳などを通しておこなっていますが、情報の発信に対しても努めていきたい
	㉜	個人情報に十分注意しているか	●			個人情報流出防止に対し、細心の注意に努めます。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●			創意工夫をしながら最善の意思疎通に努めてまいります。
非 常 時 等 の 対 応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			●	地域の住民・施設との交流が出来る様検討していきます。
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	●			茨城県防災マニュアルに準じたマニュアルを作成し、非常時の対応を心がけていきます。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●			年2回の地震・火災等の訓練を行い防災意識を高めます。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●			虐待防止研修会に積極的に参加する等して、個々に意識を高めていきます。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	●			
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	●			
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	●			積極的にヒヤリハット事例を提出し、事故防止に努めます。